

イライラが消える! 子どもが成長する! 幸せ習慣／探究的国語力

ウィズキッズ冬号

AERA Kids with

2019 冬号
定価998円

Book
in
Book

ボードゲーム
楽しみながら賢くなれる

年末年始
プレゼントに
ぴったり!

楽しみながら
賢くなれる
ボードゲーム



今話題の
ボードゲーム
32選!



イライラが消える!
子どもが成長する!

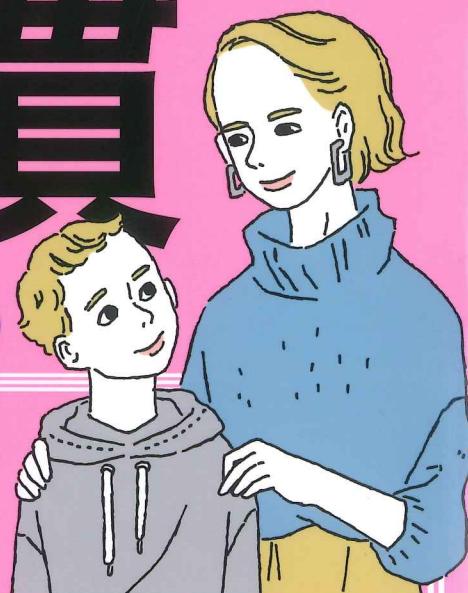
幸せ習慣

親子関係も
GOOD!



「神メンタル」「神トーク」本が話題!
星渉さんの、

「神子育て」
実践講座



石田勝紀先生に教えてもらう
「学習習慣」の
悩み相談室

探究
的



AIに負けない
「言葉の力」をつけよう!

国語力



英語と
プログラミング
の習い事

Cover Interview

押切もえさん



「子どもに読書習慣をつけたい!」の声に応えたKindleキッズモデル

Q3. デジタルデバイスを 与えることが心配です

A Kindleは読書に特化したデバイス。ゲームやビデオ、メール、広告に気を散らされることなく没頭できます。ペアレンタダッシュボードという管理機能で、子ども4人までの読書の進捗状況を見守れます。



何を読んでいるか、状況を把握できるのは安心できます。ただ、口を出して子どもの熱意をそがないうよう、そっと見守りましょう!



Q2. 読み放題だと 高額なのでは?

A 「Amazon FreeTime Unlimited」という子ども向け定額サービスで、1年間は追加料金なしで読み放題。その後は月額980円(プライム会員は480円共に税込)で利用でき、これはいつでもキャンセル可能です。そのほか、壊れても無料で取り換えられる2年間の限定保証が付いているので安心。

図書館や書店に行けない期間があっても、これ1台あればいいといいのは便利です。



Q5. 読書習慣をつけるために どんな工夫がありますか?

A 読みたい気持ちを引き出すために、読書時間などの目標を達成するとバッジやメダルが付与されます。また、1冊読み終わると、読書履歴に基づいておすすめの本を表示。次の1冊を見つけやすくなっています。通常のKindleと同じく辞書や単語帳の機能を搭載し、わからない言葉は指でなぞればすぐに調べられ、自動的に単語帳に追加されます。

膨大な情報の選別は大変ですか
から、おすすめ機能は上手に使つ
ていきたいですね。



Kindleキッズモデル

「Kindle」をベースに、お子様に新しい読書体験を提供する子どものための電子書籍リーダー。軽い本体、E-inkディスプレイで目に優しく紙のように読みやすい、ゲーム・ビデオ・アプリ通知などが一切なく、読書に集中できる設計になっている。キッズカバー、1年間の「FreeTime Unlimited(お子様向けの定額サービス)」利用、2年間限定保証付き 10,980円(税込)



問: Amazon www.amazon.co.jp/kindlekidsmodel



いつもそこにある小さな図書館 「Kindleキッズモデル」で始める読書体験

読書用デバイスとして人気の「Kindle」に、キッズモデルが登場。子どもに向かって厳選された1000冊以上の本が、1年間は追加料金なしで読み放題となります。そんな豊かな読書体験は子どもの人生に何を与えてくれるのか、花まる学習会の高濱正伸さんにうかがいました。

文／武田洋子 写真／杉山節夫
イラスト／小川悟史
デザイン／奈雲裕介(newt)
企画・制作／AERA with Kids AD セクション



花まる学習会代表
高濱正伸さん

強制は「本嫌い」をつくる まずは親が読書を楽しむ

高濱正伸さんはこれまで、「子どもに目指してほしい大人」のモデルになるような各界の風雲兒、100人以上にインタビューを行っていますが、その全員が読書に没頭した経験を持っていたそうです。彼らは読書によって、どんな力を身につけたのでしょうか? 「読書は知識を増やし、書き言葉で表現することに慣れさせて想像力を育むことにおいては、テレビよりもラジオ、ラジオより本が優れています。記憶力を養われますね。1冊読むとものすごい情報量がインプットされますし、自分が面白いと思った本なら、その魅力を人に伝えようとするとアウトプットの力もついてきます」

さらに人生観に深く関わってくる読書の影響として、高濱先生は多様な価値観を挙げています。物語を通して、戦争で迫害にあったり貧しかつたりと、自分のいる環境とは異なる他者の生に共感することができるのです。あるいは、逆境に負けない物語は、自分の感情をコントロールする術を教えてくれます。Kindleキッズモデルで読める「十五少年漂流記」や「シャーロック・ホウムズ」シリーズなどの冒險譚は、いつの時代も子どもを夢中にさせる魅力に満ちたロングセラー。現代社会は、異なる年齢、背景の人との触れ合いから学ぶ機会が激減していますが、読書がその不足を補ってくれるわけです。また、自ら問い合わせる力は、読書による豊かな想像力なくしては身につきません。課題とは想像の果てに見つかるものだからです。こうした読書体験は最終的に、自分だけの物語(人生)を肯定する力へとつながっていきます。

「15歳から25歳くらいの間で、自分が何に関心があるてどう生きたいのかを模索するとき、その内省の土台になるのが読書です。確固たる哲学や自信を持つて自分の人生を邁進する各界の第一人者たちが同じような読書体験を持っているのは、じつに当然といえるでしょう」

高濱先生によれば、幼少期の人生の指針となる本と出合うはじめの一歩は、み聞かせで本好きになる子は一定あります。

「親の声も聞こえないほど夢中で本に没頭する、それは強制して生まれることではありません。ゲームや運動にしか興味のない子がいたとき、急に読書に開眼することになります」

無理強いは禁物です。このハンディーなデバイスの中には、巨大な本棚が丸ごと収納されているようなもの。たくさんの本との出会いが、読書への扉を開く最初のきっかけとなります。

Masanobu Takahama
1959年、熊本県生まれ。東京大学卒、同大学院修了。1993年、「作文」「読書」「思考力」「野外体験」を中心とした小学校低学年向けの学習塾「花まる学習会」を設立。口コミで評判が広がり、現在は会員数が2万人を超える。講演・テレビ出演・雑誌連載多数。

